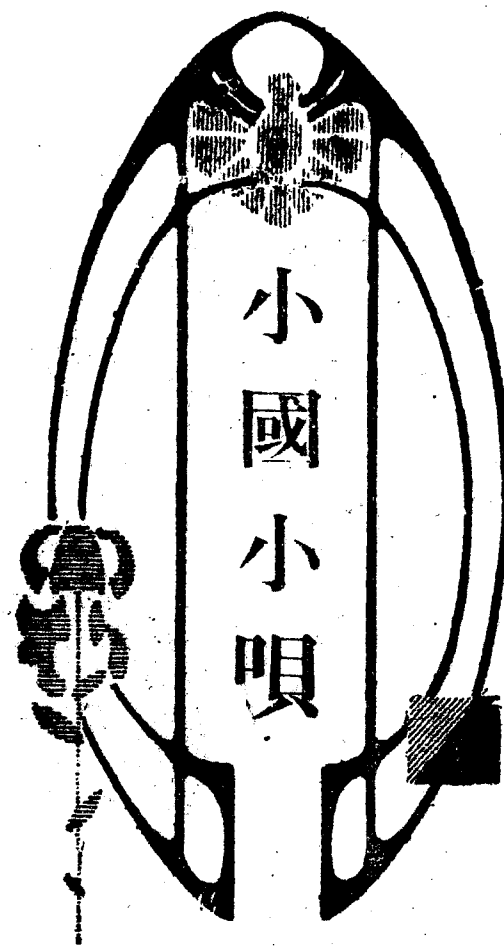


葛原しげ
宮城道雄
牧瀬数江
藤間桃代
振付唄曲詞



主催
後援

小国商工会

小国村教育委員会
小国村農業協同組合

葛原しげる作詞
宮城道雄作曲
牧瀬数江外唄
藤間桃代振付

小國小唄

一、ハア―

来いよ お出でよ わき路それず
四方 八方 どこからも

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

続くよい路 恋の路 ホレ

千里一里の小国町

ホイホイホイ

二、ハア―

街を埋めた人出の中で

どちらからとも知らぬ間に

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

会釈かわした 往き 還り ホレ

花も笑顔の太平寺

ホイホイホイ

三、ハア―

いつも 無口で やさしい人の、

土俵すがたの 凛々しさよ

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

男の中での 男よと ホレ

愛宕相撲であげた名よ

ホイホイホイ

四、ハア―

遠い夜路の 雪さえ とかす

あつい思の 脚あとも

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

只一すじに はや七夜 ホレ

岩谷薬師に 願かけて

ホイホイホイ

五、ハア―

世羅茶 世羅牛 世羅松茸と
名よし 品よし 味もよし

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

何も彼もよし 人気よし ホレ

よいもの づくしの 小国町

ホイホイホイ

六、ハア―

今日も 一日 誰彼なしに

何の 仕事も みなすまし

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

明日も 元気に はたらけと ホレ

暮れの 鐘鳴る 潮音寺

ホイホイホイ

七、ハア―

瀬音 さらさら やさしい声で

歌いつづける 何の唄

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

何のよい唄 恋の唄 ホレ

月もきいてる 美波羅川

ホイホイホイ

八、ハア―

心ありげに 物いいたげに

袖にまとつて いつまでも

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

逃げようともせず 灯をともしホレ

螢いじらし水神堂 ホイホイホイ

九、ハア―

面化八幡 朝毎夜毎

両手合して ふしおがむ

ヤアレホレノ、
ヤレコノセセツセ

願は何 願いつまでも ホレ

身動きもせぬあて姿

ホイホイホイ



昭和29年作曲

小国小唄

作詞 しのぶ 雄江代
作曲 原城数桃
外唄 葛宮牧瀬間
振付 藤



一、ハア

来いよ お出でよ わき路それず
四方八方 どこからも

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ
続くよい路 恋の路 ホレ

二、ハア

街を埋めた 人出の中で
どちらからとも 知らぬ間に

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ
会釈かわした 往き帰り ホレ

三、ハア

いつも 無口で やさしい人の
土俵すがたの りりしさよ

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ

男の中の 男よと ホレ
愛宕相撲で あげた名よ ホイホイホイ

四、ハア

遠い夜路の 雪さえ とかす
あつい思いの 脚あとも

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ
只ひとすじに はや七夜 ホレ

五、ハア

世羅茶 世羅牛 世羅松茸と
名よし 品よし 味もよし

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ
何も彼もよし 人気よし ホレ

六、ハア

今日も 一日 誰彼なしに
何の仕事も みなすまし

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ

明日も元気に はたらけと ホレ
暮れの鐘鳴る 潮音寺 ホイホイホイ

七、ハア

瀬音 さらさら やさしい声で
歌いつづける 何の唄

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ
何のよい唄 恋の唄 ホレ

八、ハア

心ありげに 物いたげに
袖にまとつて いつまでも

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ

逃げようともせず 灯をともし ホレ
蛍いじらし 水神堂 ホイホイホイ

九、ハア

両化八幡 朝ごと 夜ごと
両手合して ふしおがむ

ヤアレホレ／＼ ヤレコノセ セッセ
願いは何 願いつまでも ホレ

身動きもせぬ あの姿 ホイホイホイ

